

# 広報 こうか消防119

2019  
8月  
第16号

甲賀広域行政組合消防本部からの情報を発信します！

隔月1回  
15日発行

令和元年5月29日から水害・土砂災害の防災情報に関する新しい制度である「警戒レベル」の運用が始まりました。この制度では、**災害時に防災情報をわかりやすく提供することを目的に、以下のとおり、1から5段階の「警戒レベル」で避難のタイミングを住民に伝えることになっています。**

警戒レベルの運用開始  
「レベル4」で全員避難開始！

新制度		<避難情報等>		新制度	
警戒レベル	避難行動等	避難情報等	警戒レベル相当情報	防災気象情報 ※気象庁や県が発表	
5	<b>災害発生</b> 既に災害が発生している状況です。命を守る最善の行動をとりましょう。	<b>災害発生情報</b> 災害が実際に発生していることを把握した場合に、可能な範囲で発令。	警戒レベル5相当情報 ・氾濫発生情報 ・大雨特別警報 等	市町村甲賀市・湖南省が発令 気象庁や県が発表	
4	<b>速やかに避難先へ避難しましょう。</b> 公的な避難場所までの移動が危険と思われる場合は、近くの安全な場所や、自宅内のより安全な場所に避難しましょう。	<b>避難勧告 避難指示(緊急)※</b> ※地域の状況に応じて緊急的または重ねて避難を促す場合に発令	警戒レベル4相当情報 ・氾濫危険情報 ・土砂災害警戒情報 等		
3	避難に時間を要する人(ご高齢の方、障害のある方、乳幼児等)とその支援者は避難をしましょう。その他の人は、避難の準備を整えましょう。	<b>避難準備 高齢者等避難開始</b>	警戒レベル3相当情報 ・大雨警報 ・洪水警報 ・氾濫警戒情報 等		
2	避難に備え、ハザードマップ等により、自らの避難行動を確認しましょう。	<b>洪水注意報 大雨注意報等</b>	警戒レベル2相当情報 ・氾濫注意情報		
1	防災気象情報等の最新情報に注意するなど、災害への心構えを高めましょう。	<b>早期注意情報 (警報級の可能性)</b>	※これらは、住民が自主的に避難行動をとるために参考とする情報です。		

## ●「避難勧告」と「避難指示(緊急)」が同じ警戒レベル4に！

これは、避難勧告と避難指示(緊急)を区別する必要はなく、レベル4と聞いたら避難をしなければと直感的に行動に移すためのものです。避難指示(緊急)を待たずに、避難勧告が出された場合には該当地域内の全ての人が安全な場所に身を置くための行動をとりましょう。

## ●防災気象情報における「警戒レベル相当情報」の新設

国や県、気象庁等が発表する防災気象情報のうち、住民が自ら行動をとる際の判断に参考となる情報を「警戒レベル相当情報」として発表することにより、住民の主体的な行動を促します。ただし、テレビ等の報道機関を通じて、この「警戒レベル相当情報」が発表されていたとしても、必ずしも同じタイミングで甲賀市・湖南省から避難情報等の「警戒レベル」が発令されるとは限りません。

「警戒レベル相当情報」は、あくまで国や県、気象庁等が発表する危険度の目安ですので、住民の皆様は、自主的に避難等の判断をする際にご活用いただくようお願いいたします。

## ●日頃からお住まいの地域の危険箇所を確認しましょう！

甲賀市・湖南省では、大雨により洪水や土砂災害の危険が迫った時や、大地震が発生した場合に備え、想定される危険区域や危険度と、安全な自主避難を行うために必要な情報をまとめた「防災マップ」を作成しています。各市町で閲覧や入手ができ、ホームページ上でも公開されていますので、日頃からお住まいの地域の危険箇所を確認し、避難場所や避難経路を確認しておきましょう。



さらに詳しくは  
内閣府の防災のページへ

内閣府 避難勧告

検索

## 次のような内容で避難行動を呼びかけます

- こちらは〇〇市災害対策本部です。
- 警戒レベル4、避難勧告**を〇〇時〇〇分に発令しました。
- 対象地域の方は、速やかに避難してください。
- 対象地域は、〇〇地域/〇〇学区/〇〇区/〇〇地先です。
- 〇〇川が氾濫する恐れのあるのある水位に達しました。特定緊急避難場所への避難が危険な場合は、近くの安全な場所か屋内の山から離れた高いところに緊急に避難してください。
- ※ あくまで文例のため、細部が変更となる可能性があります。

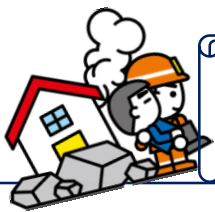
## 伝達方法

甲賀市

湖南省

- 緊急速報メール
  - エリアメール
  - あいこうか緊急メール
  - 甲賀市地域情報基盤
  - 〔音声放送  
屋外拡声器  
光ケーブルテレビ放送 等〕
- 緊急速報メール
  - エリアメール
  - 湖南省メール配信サービス
  - 防災行政無線 等

※ 場合によっては、ホームページやFacebookへの掲載、区長さんへの連絡(緊急連絡網)も使用されます。



# 令和元年度 甲賀広域消防連合夏期訓練大会を実施！



甲賀広域行政組合消防本部・消防署では、6月30日(日)、甲賀市立土山中学校及び周辺において、令和元年度甲賀広域消防連合夏期訓練大会を実施しました。この大会は、中高層建築物において大規模地震の発生による被害を想定し、甲賀市及び湖南市を管轄する各防災関係機関が、災害時において連携して、迅速、的確に対応できる防災体制の確立と住民への防災意識の高揚に資することを目的としたものです。甲賀・湖南両市消防団、滋賀県警察甲賀警察署、公立甲賀病院、滋賀県防災航空隊といった各防災関係機関にも参加いただき、東南海・南海断層帯を震源とする大規模地震が発生したという想定のもと、建物からの救助救出訓練と火災防ぎょ訓練を実施しました。

消防職・団員はもとより、各防災関係機関がお互いに活動を確認し合いながら、連携のとれた大変有意義な訓練を実施することができました。今後も訓練を重ね、地域における消防力をより一層高めていくことに努めます。



△左から西田消防士、竹内消防司令補、吉川消防士長

7月3日(水)、滋賀県消防学校において、「第46回滋賀県消防研究会」が開催され、本消防本部から2組が出場し、水難救助器具の考案と廃棄ホースを活用した消防活動器具の考案についてを発表し、2組ともに“奨励賞”を受賞しました。

同賞を受賞した2組は、9月10日(火)に開催される「第59回全国消防長会東近畿支部消防研究会」に出場します。

## 消防研究会とは

消防職員が日常の業務の中で互いにアイデアを出し合い創意工夫して、機器または論文により発表するものです。



## 令和元年甲賀消防管内 災害発生状況

(7月末現在)

火災	39件
救急	3316件
救助	56件
その他	285件

甲賀広域行政組合消防本部では、6月17日から20日までの4日間、甲種防火管理新規講習を実施しました。

この講習は、病院、店舗、集会所や工場など、多数の方々が利用する建物において、防火管理上必要な業務を行う責任者である「防火管理者」に選任される予定のある方を対象に毎年実施しているもので、今回は102名の方々が講習を修了され、防火管理者の資格を取得されました。

今後は、この講習を受講された皆さんが中心となり、各事業所の火災予防がより一層推進されることを期待しています。



△講習中の様子